

上尾中央総合病院 上尾医師会 共催

第44回 疼痛・緩和ケア勉強会

「ACP について考える」

第1部：講演「ACP 私の場合～患者協働の医療へ」

講師：鈴木信行（医患ねっと代表、ペイシェントサロン協会会長）

第2部：シンポジウム「ACP 支援に必要なこと」

- ・講師 鈴木信行 ・矢澤クリニック 矢澤 聡 院長
- ・外来看護科 石崎信子 ・医療相談室 名倉綾乃
- ・西包括支援センター 矢野修平 他

日時：2019年6月26日(水)18:30～20:00

場所：上尾中央総合病院 B館 10F 中村記念講堂

ACP ってなに！？ 一緒に考えましょう！

アドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning :ACP)とは、患者さん本人と家族が医療者や介護提供者などと一緒に、現在の病気だけでなく、意思決定能力が低下する場合に備えて、あらかじめ、終末期を含めた今後の医療や介護について話し合うことや、意思決定が出来なくなったときに備えて、本人に代わって意思決定をする人を決めておくプロセスを意味しています。



<鈴木信行氏プロフィール> 1969年生まれ 東京都在住
二分脊椎症による身体障がい者、精巣がん・甲状腺がんのサバイバー
患医ねっと代表、ペイシェントサロン協会会長、精巣腫瘍患者友の会副代表
北里大学(薬)・上智大学(看)非常勤講師
元第一製薬(株) 製薬・製剤研究所社員 (1994年入社 2007年退社)

・患者の自律を促進するための講演や、医療者と患者の対等な対話を取り入れた研修など、患者協働の医療の推進に向け、日本全国で患者の立場から幅広い活動をしている第一人者。

TED×Kobe2019 にスピーカーとして登壇。

著書：「医者・病院・薬局 失敗しない選び方・考え方 一病気でも「健康」に生きるために」(さくら舎)

院内での事前申し込みはMyWebよりお願いいたします。